

## 東京・現地緊急災害対策本部

# 支援団体と連絡取り いわき市で炊き出し

東日本大震災を受け、3月12日に設置された東京教区現地緊急災害対策本部は、被災寺院の情報収集のほか、被災地で活動する支援団体と連絡を取り合い、被災者が必要とする救

所で生活する200人をはじめ、小学校の教職員や周辺の住民らに野菜たっぷりの温かい豚汁を振る舞った。ひと時の安心を得られた被災者からは「温かい食事は有り難い」「こんなたくさんの野菜を食べたのは久しぶり」との声が聞かれた。

援物資を届けている。また、全国の教区などから送られてくる支援物資の仕分けなどを行っている。

その中、3月24日は津波の影響で断水が続く福島県いわき市の避難所となっている江名小学校に職員ら5人を派遣し、豚汁の炊き



炊き出しは、現地で行った。長引く避難生活で栄養面に偏りがあり、体調を崩す人も多いことから具だくさんの豚汁を届けることにした。

「うつくしまNPOネットワーク（鈴木和隆事務局長）」の協力を得て、持参する物資や日程などを調整した上で実施した。

コンロや500食分の食材を持ち込み、避難